

議員発議の内容

次のとおり議員発議による提案がされ、いずれも可決しました。

○発議案第1号 労働者保護ルール改正反対を求める意見書の提出について

○発議案第2号 国における平成27年度教育予算拡充に関する意見書の提出について

○発議案第3号 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出について

○発議案第4号 「手話言語法(仮称)」の早期制定を求める意見書の提出について

議員派遣の決定

次の議員派遣を決定しました。

○山武郡市議会議長会主催による第50回山武郡市議会議員研修会

目的 講演会
「議会人の危機管理」

派遣場所 山武市

期 日 平成26年6月25日

派遣議員 小金井勉 外11名

○山武郡市議会議長会主催による視察研修

目的 先進地事例視察研修

派遣場所 福島県いわき市

期 間 平成26年7月24日、25日

派遣議員 副議長 宮間文夫

議会を傍聴しませんか

手続きは簡単です。
当日、傍聴券に住所・氏名を書いていただければ。
またインターネットでも議会中継がご覧いただけます。
【傍聴席は30席です】
次の定例会は、**9月3日(水)**に開会される予定です。

委員会付託内容・審査報告

※議案名などは、採決結果一覧(6ページ)を参照ください。

総務常任委員会

去る6月13日に総務常任委員会を開催し、付託された議案6件、請願1件について、慎重な審査を行いました。

■審査結果

議案第2号及び議案第4号、議案第7号及び議案第8号、議案第10号は全て原案可決、議案第6号は可否同数となり、委員長裁決により原案否決。

なお、請願第7号については継続審査となりました。

■主な質疑

●議案第2号

問 保育園の認可化移行総合支援事業補助金については、認可化意向の希望があったのか、市からの要望によるものか。

答 1施設については認可化の意向があり、もう1施設についても、新年度では保育定員の関係から、国の給付金を受けるためには認可保育園に移行することが必要であることから、運営を維持するためには認可保育園への移行を促進する必要がある。

●議案第4号

問 地方税法施行令の改正による課税限度額の見直しについては、昨年度も同様に限度額の改正を行っているが、条例で限度額を定めることも可能であることから、改正された限度額に改めなくてもよいのではないか。

答 原則として同施行令の限度額にすることは決められたものではないが、各国保会計の状況により判断することによっていることから、同施行令の改正に伴い限度額の引き上げを行いたい。

●議案第6号

問 管理監督責任による給料の減額という点だが、飲酒運転事故を起こした職員と部局の違う教育長にも責任を負わすことは、責任の所在が不明確にならないか。また、教育長も連帯責任ということだが、市長の要請によるものか。

答 教育委員会部局の職員による飲酒運転事故ではないが、市職員全体の問題として、示達、研修を行ったにもか



かわらず、2回目の飲酒運転事故が起きたことを踏まえ、三役で協議した中で、教育長自らも決意し、三役の申し出により議案として上程した。

●議案第7号

問 議案第10号と同じような工事だが、応札者の数に違いがあるが、特別な事情があるのか。

答 議案第7号の白里小学校屋内運動場については新築工事となるが、議案第10号の白里中学校管理棟耐震改修工事については既存建物の改修工事であり、4階部分の撤去も行う難しい工事であることから、応札者が少なかったと考えられる。

●議案第8号

問 高齢者の利用増加が見込まれるが、高齢者に配慮した構造となっているのか。

答 高齢者の方でも車内の移動がスムーズにできるよう、段差のないフルフラットフロアとなっている。また、安全性の面から、バックモニターや車線逸脱防止及び衝突防止の警報装置を備えている。

●議案第10号

問 千葉県発注事業における談合事件による指名停止措置の影響により、入札が不調となったことから、地域要件を全国に緩和したがいままで登録すれば、4月の入札に参加できたのか。

答 昨年度中に登録をする必要がある。

文教福祉常任委員会

去る6月16日に文教福祉常任委員会を開催し、付託された議案1件、請願4件について、慎重な審査を行いました。

■審査結果

議案第5号は原案可決、請願第4号から請願第6号については、すべて採択。

なお、請願第1号は継続審査となりました。

■主な質疑

●議案第5号

問 過去に教育委員の定数を5名から6名に増やした経緯は、また現在の保護者代表の委員は保護者の要件を満たしているのか。

答 法律の改正により、保護者を含めることが義務づけられたことから、保護者の委員を含めるため1名増員の定数条例を制定した。また、現行の制度では、保護者代表の要件として、未成年の保護者であることから要件を満たしている。

●請願第4号

問 女性に保護者と限定した方を新たに委員に選ぶべきと考えるが、候補と

なる方が見つかるまで欠員のままでよいのではないか。

答 長期間の欠員が生じることは好ましいことではないと考える。

●請願第4号

「国における平成27(2015)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願

審査結果 採択

「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願

審査結果 採択

主な意見

「請願を推進したい」という意見や「請願内容について反対する理由がない」などの意見がありました。

●請願第6号

手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願

審査結果 採択

主な意見

「手話は言語として広く認識されてきている」との意見や「現在は、イベントなどでも手話による情報発信が見られることから、認知されてきている」という意見のほか、「手話は意思疎通には必要不可欠」という意見がありました。

小・中学校及び保育所視察

常任委員会終了後、白里小学校・白里中学校の給食室及び第1・第2保育所の施設の状態を視察しました。

文教福祉常任委員会

- 委員長 一色 忠彦
- 副委員長 前之園 孝光
- 委員 小金井 勉
- 委員 石渡 登志男
- 委員 佐久間 久良
- 委員 岡田 憲二 (欠席)

産業建設常任委員会

去る6月17日に産業建設常任委員会を開催し、付託された議案2件、請願2件について、慎重な審査を行いました。

■審査結果

議案第3号及び議案第9号はすべて原案可決。

なお、請願第2号及び請願第3号については、いずれも継続審査となりました。

■主な質疑

●議案第3号

問 大網駅東土地画整理事業の今後の整備計画は。

答 移転補償に伴う建物の撤去が8月末の完了を予定しており、区画道路築造や電線共同溝布設、宅地造成工事の執行準備を8月から進め、9月以降の

工事着手を予定している。

問 建物等移転補償費を減額することにより、移転補償対象物件の工事完了後の支払いに支障はないのか。

答 平成26年度の移転を見込んで予算を計上していたが、平成25年度中に当該物件の地権者と交渉が成立できたことにより、平成25年度の予算において対応した。

●議案第9号

問 字の名称を変更することについて、住民への説明は行ったか。

答 字界、または字の名称については、県営事業のため、県と地元地委員で

産業建設常任委員会

- 委員長 大野 英雄
- 副委員長 秋葉 好美
- 委員 宮間 文夫
- 委員 花澤 政広
- 委員 加藤岡 美佐子
- 委員 田中 吉夫

決定された案になる。また今議会で可決されれば、12月または1月頃に地権者、関係者で構成する権利者会議が開かれ、詳細な説明が行われる予定。

問 隣接する茂原市の事業も同様に進めているのか。

答 同じ県営事業で行っていることから、茂原市も同様に6月議会に議案として上程している。